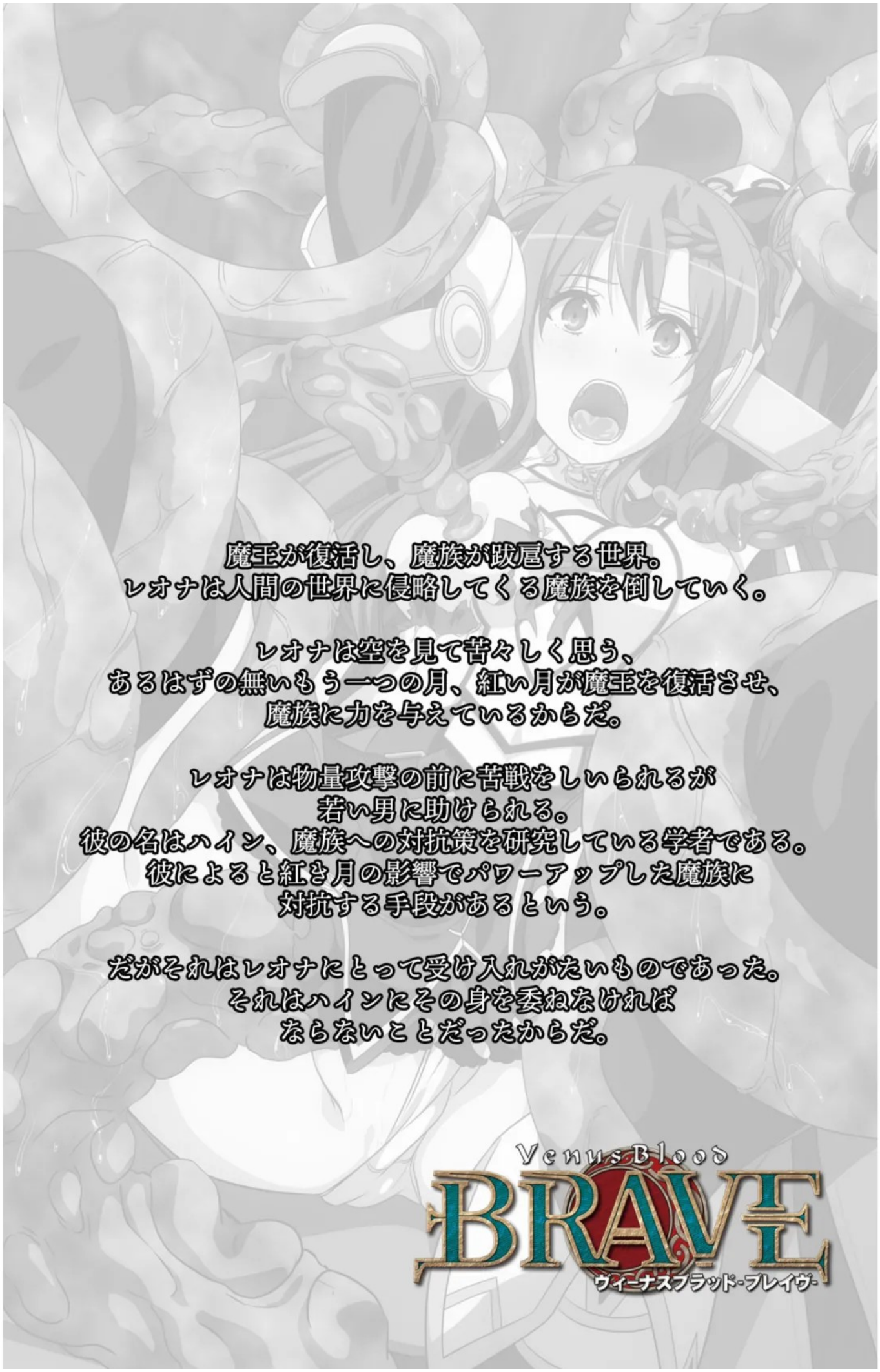

e-ColorComic
【フルカラー成人版】VenusBlood
BRAVE
ヴィーナスブラッド-ブレイヴ-
第1話 紅き月下にうごめく触手たち
著者 dualtail
出版社 TMEプラス



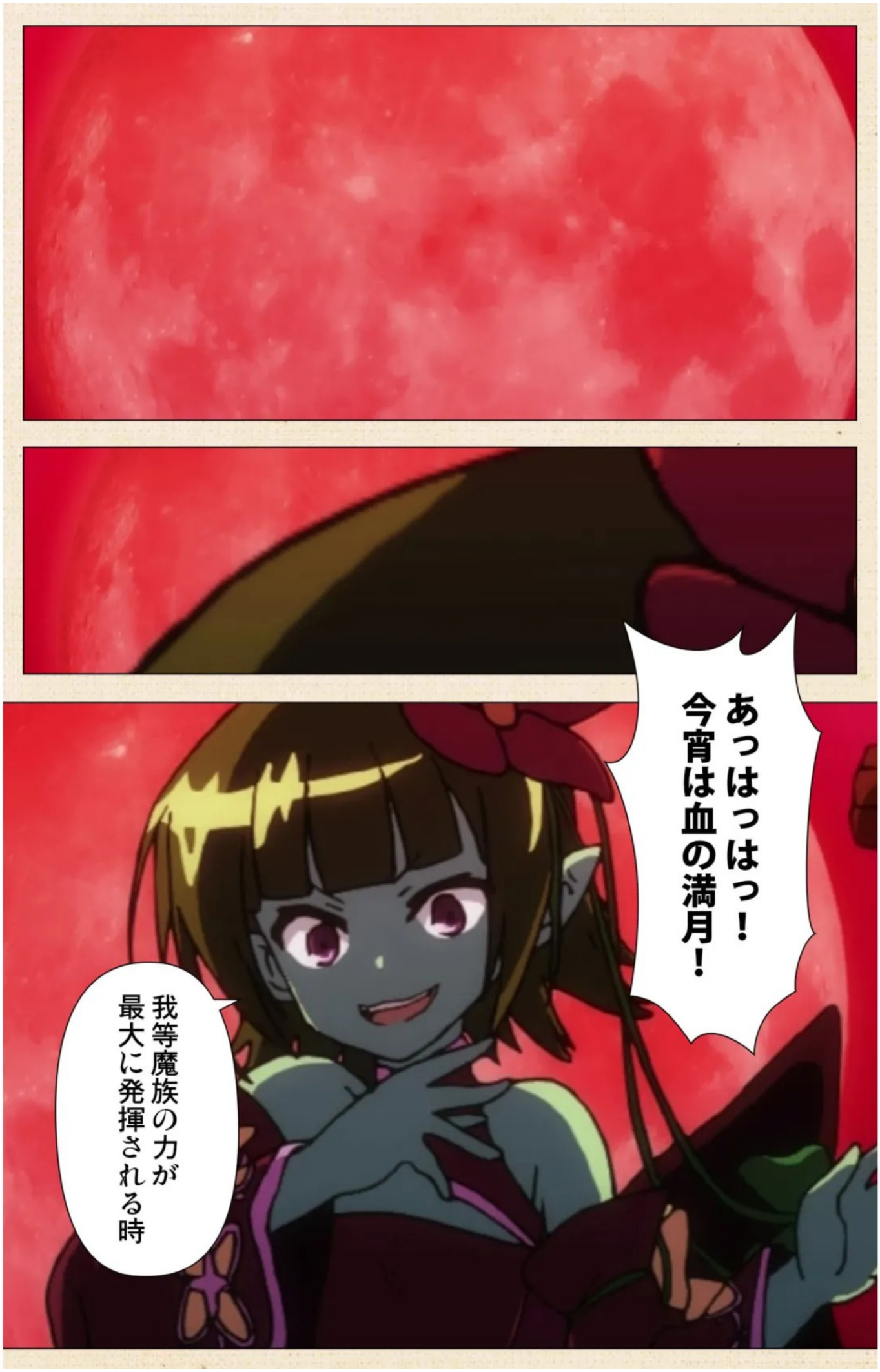
魔王が復活し、魔族が跋扈する世界。
レオナは人間の世界に侵略してくる魔族を倒していく。

レオナは空を見て苦々しく思う、
あるはずの無いもう一つの月、紅い月が魔王を復活させ、
魔族に力を与えているからだ。

レオナは物量攻撃の前に苦戦をしいられるが
若い男に助けられる。
彼の名はハイン、魔族への対抗策を研究している学者である。
彼によると紅き月の影響でパワーアップした魔族に
対抗する手段があるという。

だがそれはレオナにとって受け入れがたいものであった。
それはハインにその身を委ねなければ
ならないことだったからだ。

Venus Blood
BRAVE
ヴィーナスブラッド-ブレイヴ-


あっはっはっ！
今宵は血の満月！
我等魔族の力が
最大に発揮される時


さぁ　存分に
暴れなさい
あんた達！
ゴゴゴゴ…


この世界の
覇者気取りの
人間達に
思い知らせて
やりなさい


魔物の本当の
恐ろしさを…！


血の満月とはいえ
派手にやっているな
こんなところに
まだ人が残って
いただのか
抵抗するなよ
おとなしくしてれば
殺しはしねぇ


動かないで！
はあああああっ！
ドシャッ！

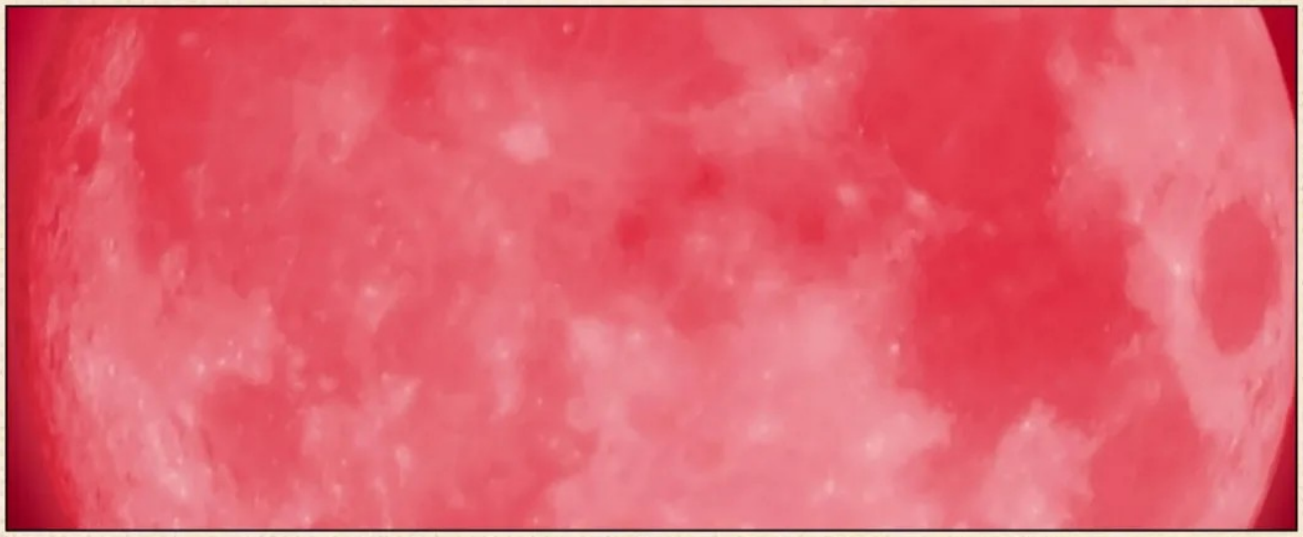

うぎゃあああっ！


大丈夫？
お前は…？


最近この街に来た勇者だったか？


あら　私も有名になったものね
それよりここは危険よ


この先に避難所があるからそこまで走って
ご主人様
シーラか
面白いものを見つけた 追うぞ



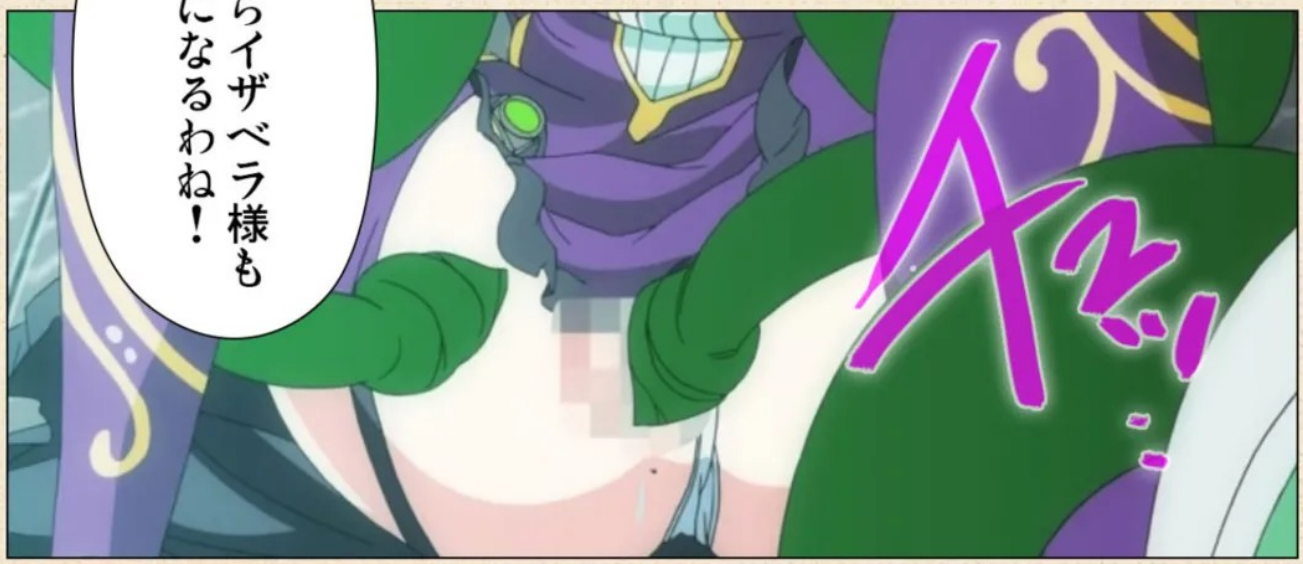

ガル
ガル


ふぅん
ランクCって
とこね
ああぁ…
やめてください…
あっ?
はあっ?

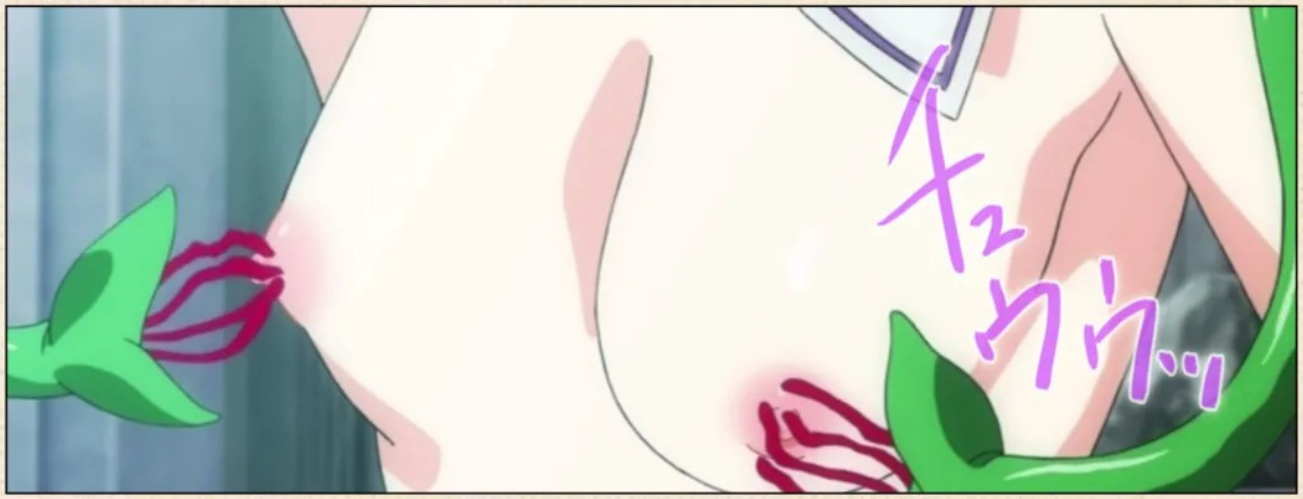

こいつは…
ランクBか

いやあああっ！


大漁大漁！
魔力は軒並み
C～Dランク


これならイザベラ様も
お喜びになるわね！


そしてこいつ…
へぇ…
こいつはランクA
ひっ…
とびきりの
掘り出し物ね…
イルル…
いいわ　あなたは
ワタシが直々に
かわいがってあげる
Xe…
Xe…


ギュウ…

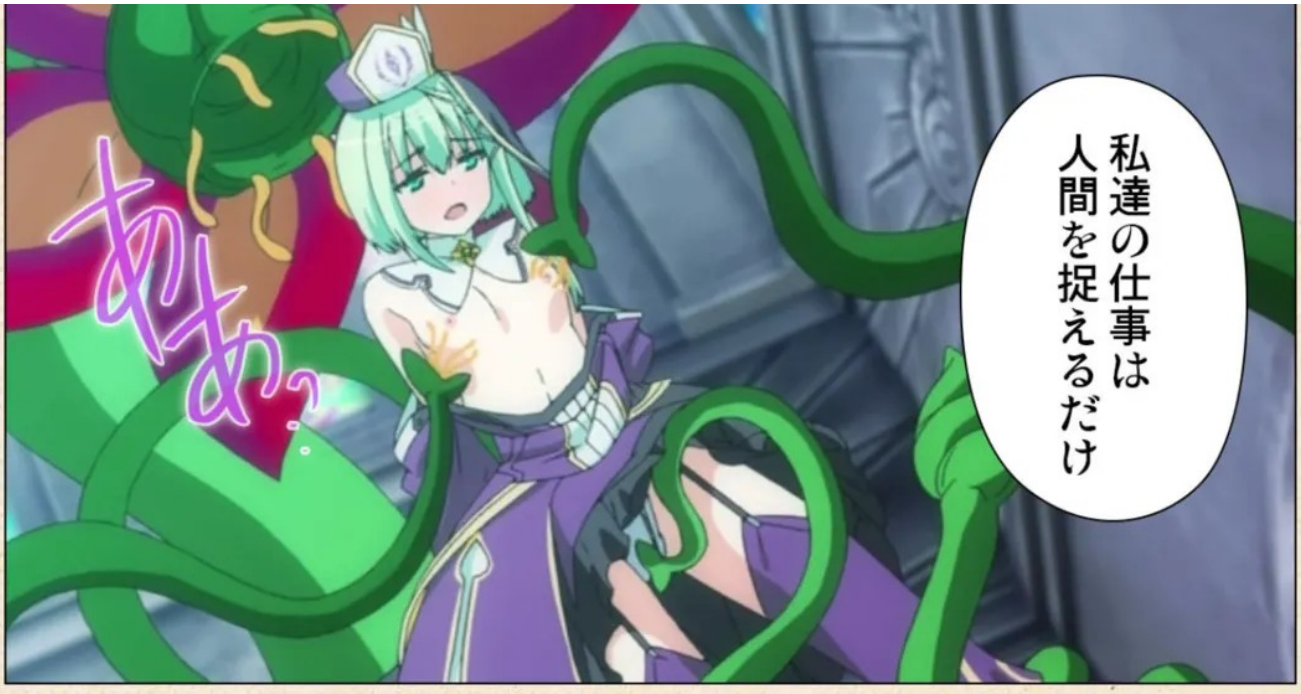



ほら　他の女達を
早く運びなさい


魔族の裏切り者を
探して連れてこいって
命令も忘れないで
くださいよ
ヨーキ様っ！
上機嫌なのは
いいんですが…


ちゃ…ちゃんと
覚えてるわよ！
失礼ねっ！
ほら　人間捕まえる
だけじゃなくて
それっぽい奴も
探しなさい！


わかりました！
さて…
こ…殺さないで…
お願いします…
ちょっと
そんな怯えない
でよねー
抵抗さえしなければ
むやみやたらに
殺しはしないんだから


私達の仕事は
人間を捉えるだけ
あぁ…


むやみやたらに
殺すのは魔王様に
許可されてないのよ


そ…そうなんですか？


ガバッ!!
あっ
んんんっ！
うう…


ま…殺しは
しない代わりに
魔族の子供を
たっぷりと孕んで
もらうことに
なるんだけどね


た…助けて…
ユラン様…


あああっ…
お願いです…
やめてください…
お願いします…！


いいんですか？
ヨーキ様に黙って
犯っちまって
きちんと仕事は
やってるんだ
2，3人こちらに
回してもらったって
ヨーキ様も
文句言わねぇさ
ブルン
ブルン
あぁっ！
い…いや…
やめて…
これ以上
やられたら
壊れちゃう…！
ブルン
なぁ！
そこの姉ちゃんも
そう思うだろ
ビクッ
ビクッ
ビクッ


ぐぎゃあああっ！
なんだ　またやられたのか情けねぇな
捕まえたやつに好きにさせてやるっつってんだ
しっかり気張れよ

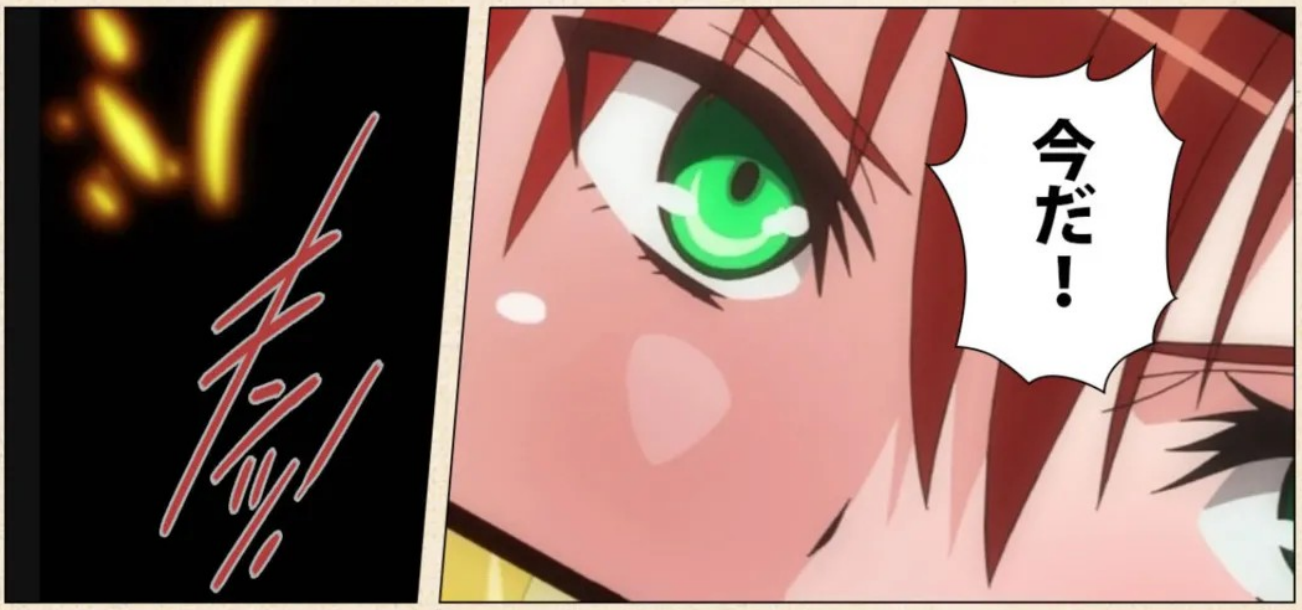

くっ…　普段なら
こんな下級の魔族なんて
物の数じゃないのに
血の満月の日は
本当に厄介ね！
魔力も残りわずか…
どうすれば…
どうしたどうした
もう疲れてきたのかい？
お嬢ちゃん
自分が無力な
人間のメス
だって事を
教育して
やらねぇと
なぁ！
フッフッフ…


おい
こっちだ豚共
バッ




な…
なんじゃこりゃ…？
か…身体が
重くなって…


あぁ…？


今だ！




バァァ

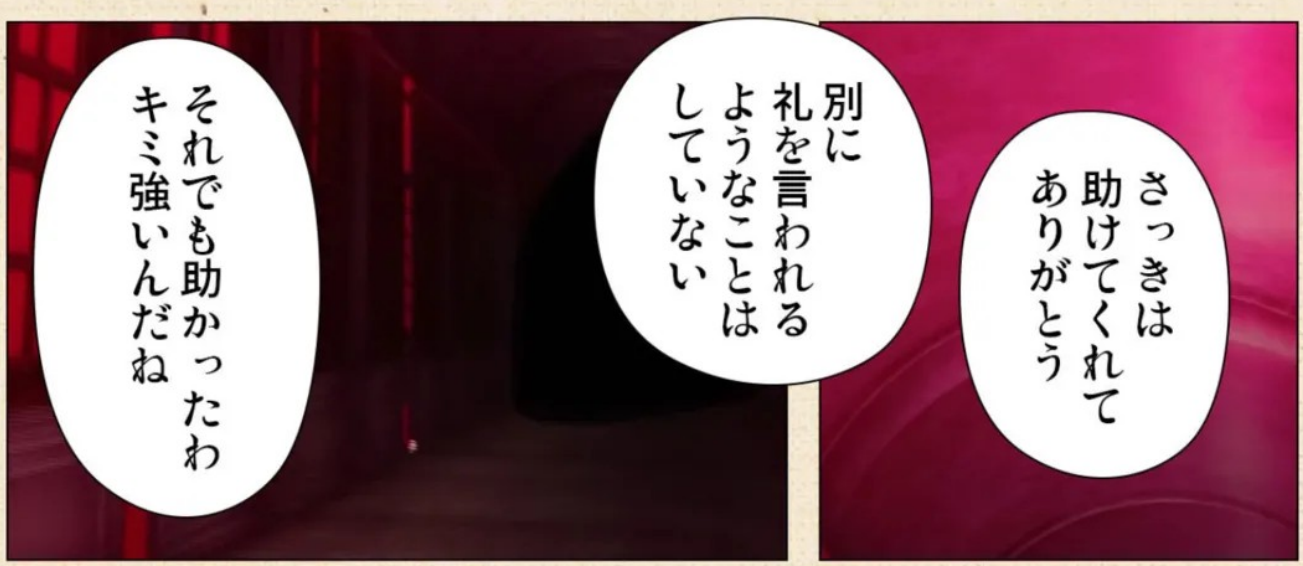

大丈夫？


は？


その煙は
魔物にしか
効果はない
人体には
影響ないから
安心しろ


キミは
さっきの？
あ…あの！
この奥に魔物に
捕まった娘が
一人残っているん
です
どうか
お助けください


任せて　その娘は
ワタシが助け出して
あげる
だから
あなたは
安心してここを
離れなさい


さっきは
助けてくれて
ありがとう
別に
礼を言われる
ようなことは
していない
それでも助かったわ
キミ強いんだね


ハイン
えっ？


ハイン＝ヴォルガール
俺の名だ
紅き月と魔族への
対抗策を研究していた
神殿付きの魔学者だ


私はレオナ
レオナ＝アマラールよ
魔王を倒すために
旅をしている竜の
勇者よ


堅苦しいのは
苦手だから
ハインでいい
その代わり
こっちも
レオナと
呼ばせて
もらう
それじゃあ
よろしくね！
ハイン！


……ああ




…それにしても
紅き月の魔力って
本当に凄いのね
なんだ
血の満月の日に
魔族と戦ったのは
初めてか？


ううん
一体や二体なら
戦ったことがあるけど
あんなに大勢を
相手にしたのは初めて
紅き月　魔王ラーガル復活と
時を同じくして
本来の月とは別に
空に現れた禍々しき紅月




その月が放つ光は
生物…特に魔族に
多大な影響を与える
んんっ？
光を浴びた生物を
激しい興奮状態に陥らせ
理想のタガを
外れやすくさせる
ハァハァ
ハァハァ
ハァハァ
レロ…


その影響が最も強くなる
血の満月ともなれば


『紅き月が満ちる日は
いずこかの人の街が
滅び去る』
…と噂されている
くらいだ


魔族達は
人間を殺さずに
捕まえていた
やっぱりあの噂も
本当なのかな…
噂？



あぁ
捕らえられた人間が
産卵母胎や種馬に
されるって話か



事実だ
魔族は単独で繁殖できる
種族は少ない

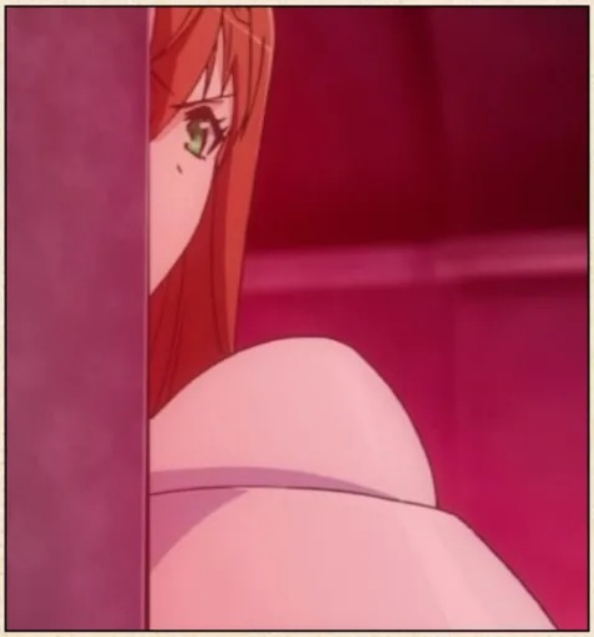


人間は魔族のどの種族にも
適応することができて
繁殖するのに都合のいい種族だ


だから
魔族を増やすために
利用する
やっぱりそうなんだ…
詳しいんだね


まぁ　そういう研究を
専門にしてきたからな


しっ…




この先から強力な気配がする…
さっきの人が言ってたヨーキって呼ばれてたアルラウネはこの先にいるはず
捕まった人の事を考えるとこれ以上時間が過ぎるとまずいわ…
ここは一気に…


まぁ待て
バカ正直に正面からぶつかる必要も無いだろう
俺に考えがある
耳を貸せ

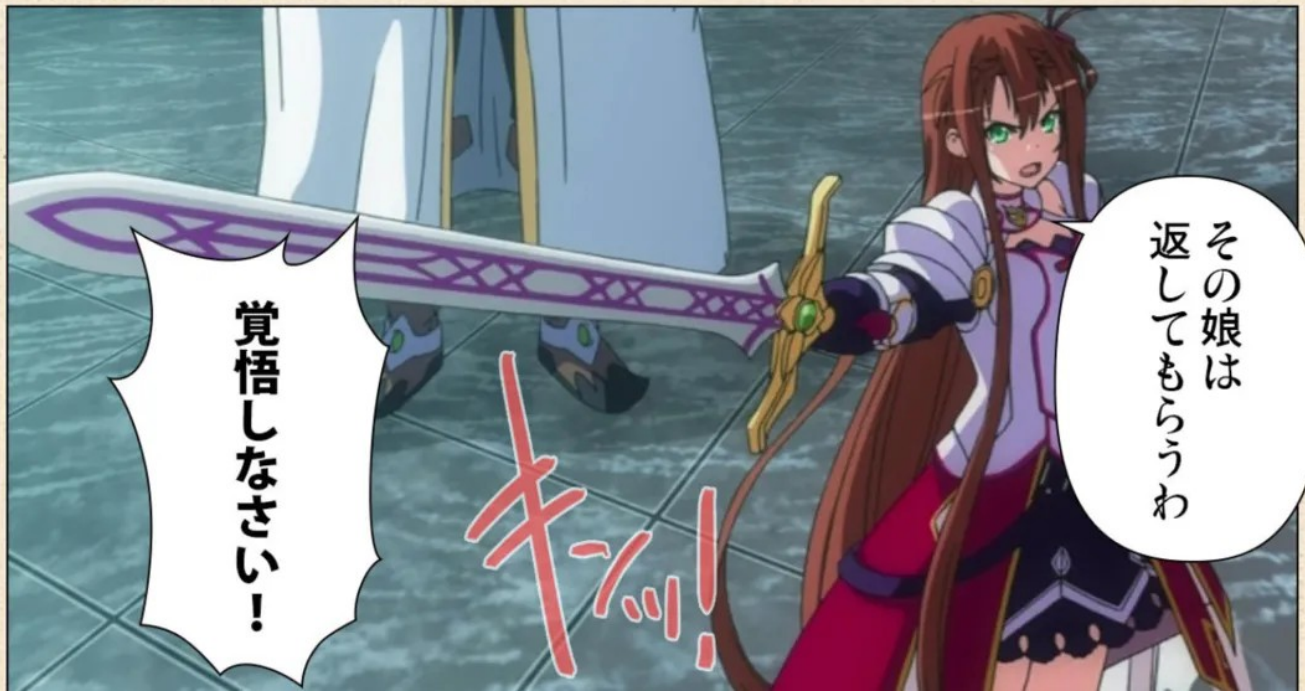



あっ
はあっ
レロ〜ッ


…ふんっ…
たった2人で
大した
度胸じゃない
何者よ あんた？


私はレオナ
通りすがりの…
ただの勇者よ
勇者…？


自称勇者は今まで
ごまんと見てきたけど
あんたみたいな
ガキンチョが勇者を
名乗るのは初めて
見たわ！
で　そちらのフード
かぶったあんたは？
勇者のお守り？


その娘は
返してもらうわ
覚悟しなさい！
キンッ！


ふん…
やれるものなら
れってみなっ！


アアア…


うぐっ…
お…おかしい…
力が出ない…？


植物性の
魔物を
激しく
弱体化させる
薬品を空中に
散布している
ブラッドムーン
とはいえ
お前の力は
それ以上に
弱ってるはずだ
うぐぐっ…
この…
クソ野郎っ…！


その娘を放しなさい
イルル…
しっかり！大丈夫？
ガッ！
ちょ…ちょっと！どうしたの！
ビビビ…！




ズバッ!!!
ズシャッ!!
ぴっ…
ぴっ…


えっ…！


気を抜きすぎです
ご主人様
あぁすまん


その娘…
あんたの角…耳…
ま…まさか…
キミ魔族なの!?


あぁそうだ
俺は魔学者
ハイン＝ヴォルガール
正体は人間というよりは…
魔族というほうが正しいな


な…ななっ…
なんで魔族が人間に
味方してるのよっ!?
まさかイザベラ様が
捕らえなさいと
言ってた
裏切り者の魔族…!
裏切り者?
そいつは
お前さんの想像に
任せるよ
ズリ
……それよりも
覚悟するんだな
正体を知られた以上
大人しく帰す訳には
いかなくなった
ゴゴゴ…


ゴゴゴゴ…


や…やばい…
なんか知らないけど
こいつやばい…
今の状態じゃ
相手にならない…


こ…
こうなったら…
くらえっ！


ボンッ!!
うりゃっ!


大見得切った割には
小賢しい手を使う


ご主人様
何やら
この煙には
強い毒性が
混ざっている
ようです
これ以上は無理だな
…戻るぞシーラ


はい
ご主人様

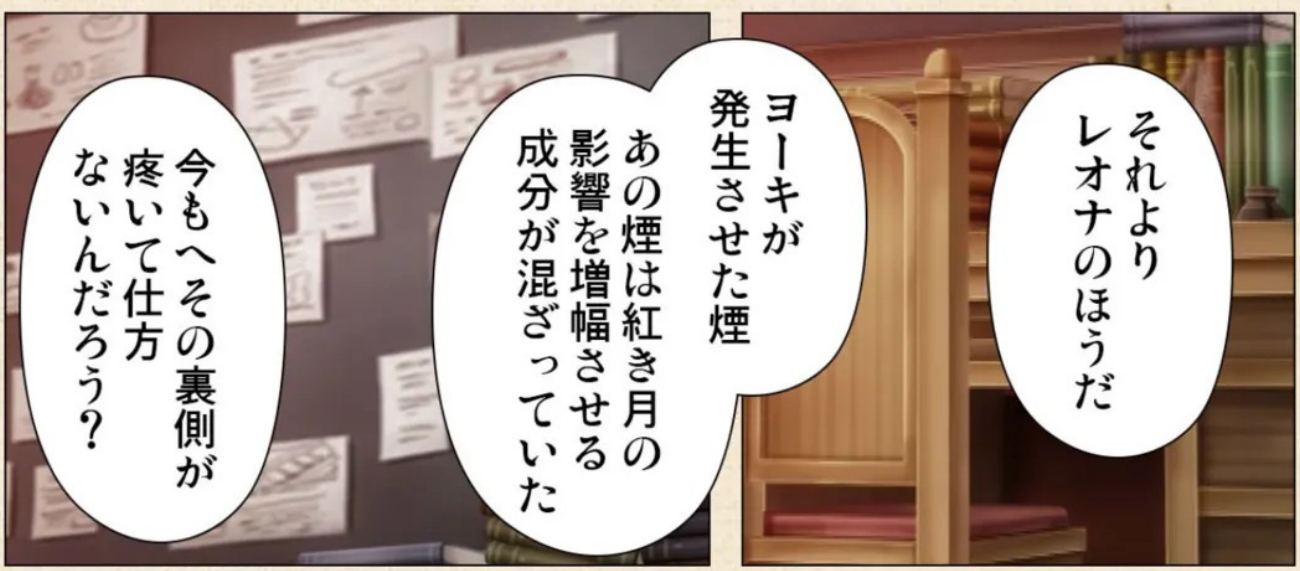



起きたか
ここは…


街の宿屋だ
もっとも
俺たち以外
誰もいないがね
ヨーキは！
助けた娘は
無事なの？


ヨーキの奴には
逃げられた
娘の方は種子を
植え付けられてたようだが…
取り除いて解毒剤も
打ったじきに良くなる
そう…
よかった


それでキミは一体
何者なの？
魔族のキミが
私に協力するなんて
何が目的？
悪いがその理由に
関していま話すことは
できない
話した所であまり
意味がないからな


それより
レオナのほうだ
ヨーキが
発生させた煙
あの煙は紅き月の
影響を増幅させる
成分が混ざっていた
今もへその裏側が
疼いて仕方
ないんだろう？


き…キミには
関係ない
話でしょ!?


もし恒久的な耐性を
得られる方法が
あると言ったら？


…え？
本当にそんな
方法が…？
何をすれば
いいの？


なに
簡単なことだ
俺に
犯されればいい


心配するな
お前は何もせず
ただ流れに身を
任せていればいい
痛いどころか
とっておきの快楽を
提供してやるぜ


む…無理！
無理無理無理！
絶対に無理っ！
というかなんで…
だ…抱かれないと
いけないのよ！


魔力というのは
本人の許容量を
超えてしまえば
毒になる
なら
超えないよう
その器を
広げればいい
今　お前の体内で
過剰に精製されている
魔力を俺が体内から吸収し
同時に魔力の受け皿である
魔力炉を拡張し
許容量を増やす


…とまぁ
ざっくりと言えば
そういう話だ
やっぱりだめっ！
いくら耐性を
得られるからって
簡単に男の人と…
え…エッチなんて
出来ない！


そうか…
残念だ


せっかくだから
合意の上で
やりたかったんだが


ホッ…


スッ…


ニュル
ニュル
ヌプ
えっ…！
ヌルッ
なに…！
ヌルッ
ちょ…
ちょっと待って！
これはどういう
つもり!?
あっ!?
どうもこうも無い
お前が強情だから
無理やり犯そうと
しているだけだが


いけしゃあしゃあと
よくも…！
な…なんなのよ
この変な生き物は！
イル…
イル…
こいつらは俺の
研究成果だ
一本一本がそれぞれ
意思を持ちつつも
根っこは俺と
接続されている
種類も豊富で
力の強弱も
自由自在
…ま　要するに
使い魔みたいな
もんだ
こんな悪趣味な
使い魔…聞いたこと
ないわ…！


こ…この…
気持ち悪いから…
う…動くなぁ…！


この…！
人をこんな
化け物に
好きにさせて
笑って観察する
だなんて…
あり得ないっ！
こんな責め…
大したこと
ないんだからぁっ…！


ひゃっ！
ちょ…
ちょっと待って…！
そこはダメ…！
ああああっ！


んんっ！
やめっ…
こんなの…
し…知らないっ…！


なんだから身体が
熱くなってきて…
頭もボーッと…
ダメ…流されたら
ダメなんだから…！
ま…待って…
それは…
それだけはダメ…！
安心しろ
痛いのは
最初だけだ
慣れれば気持ち
よくなる
ハ…ハイン…
これが終わったら
覚えておきなさいっ！


んんっ…
ううううううっ！
い…息できない…
頭…チカチカする…！
あまり男慣れしている
風には見えなかったが
やはり処女だったか


好き勝手なこと言ってないで今すぐこの化け物たちから解放してよっ…！
はぁ…
はぁ…
まぁ処女膜破られていきなり気持ちよくなる訳はないわな
だが気持ちよくなるのはこれからだ
グッ
グポッ
グポッ
ガッ
ぜ…全然気持ちよくなんかならないじゃないっ！
ドクン
ドクン
ひゃあああっ！

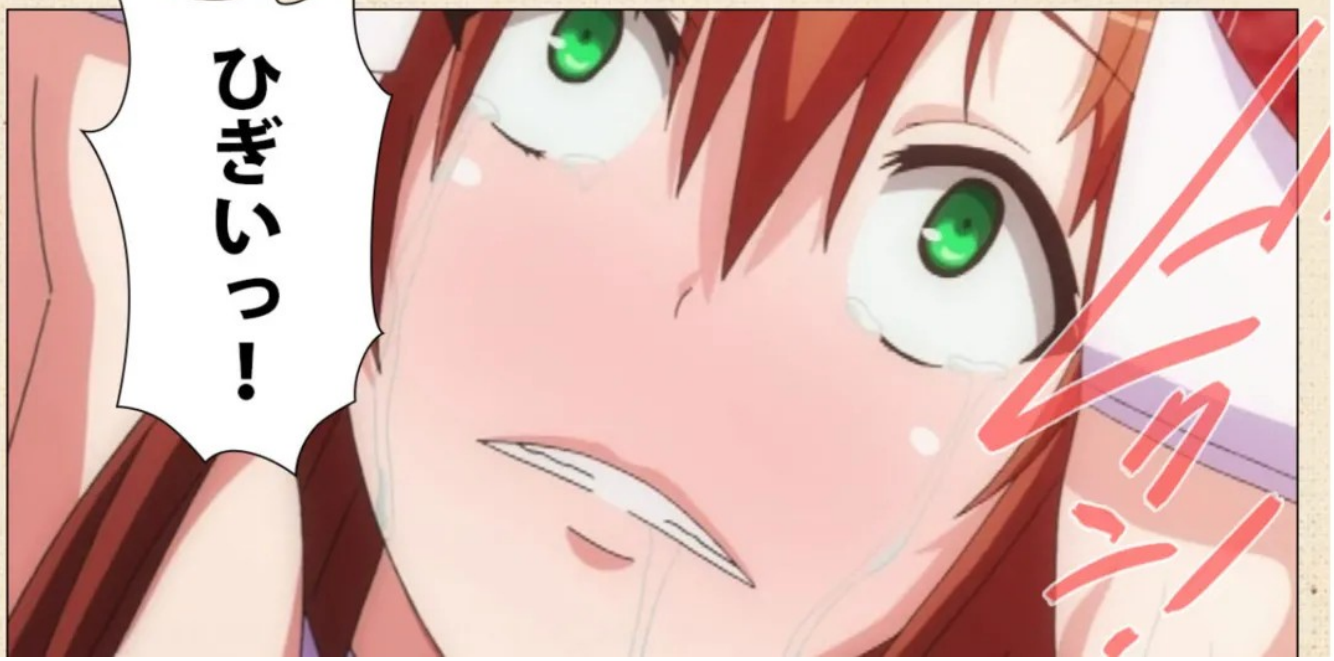

な…なに…
これ！
お腹の底から
何かが…
吸われて…！
ドクン
ドクン
始まったか…
その感覚は触手が
お前から魔力を
吸い上げている
ものだ


わ…
私の魔力を…？
魔力を精製する
力を持つ生物学器官…
女の子宮はその中でも
随一の精製量を誇る
はあ…
そこからレオナの
魔力をいただく


その感覚を
しっかりと子宮に
刻み込んでおけ
ギチ…
意識を保ったまま
魔力を吸い取られる
感覚はまず味わえない
かわな
ギチ…
あぁ…


やめっ…
やめてっ…
はあっ…
すっかりと
吸魔セックスに
ハマっちまった
みたいだな
あっ!


だ…誰がこんな
化け物とのエッチに
ハマるもんですか！
私はこんな
触手になんか
絶対負けたり
しないんだから！


ひぎいっ！


んうぅ…！
ダメッ！
それダメッ！
お腹…
溶けちゃうっ…！
いい顔だ！
最後は触手共の
射精で天国に
連れてってやるぜ！


しゃ…射精って…
まさか…！
やだ！
中は…中に出すの
だけはダメっ…！
んぁっ！
ひいっ…
ドンッ！
ダメ…
ダメよ…
これ…！
頭…おかしく
なっちゃう…！


ダメッ…
もう止めてええっ！
来るっ…
イクっ…
お前の記憶に
しっかりと
刻み込まれるよう
たっぷりと
イカせてやるっ！
い…イク…！
イクうううううっ！


ドロ～
ズプ…
…さて
これからが本番だ
ひっ…？
え…？
な…なにこれ！
始まったようだな


先程触手が
流し込んだ精液は
特別製でな
魔力を吸収して
急速に成長する子種が
仕込まれている
そ…それって…
これからお前には
卵を産んでもらう
たま…ご…？
イヤあああっ！
こんなの…
信じられないっ！
だって…犯すだけ
だって…！

ただイカせただけではその場しのぎにしかならん

紅き月の耐性を上げるには卵を産まないといけないんだよ

ドンッ

ドンッ

んっ…
んくううっ…！

ダメ…！
赤ちゃん産むなんてダメええ…！

な…なんで…
これ…！

変な感じに…！


ああぁ…
はあ…
はあ…
や…やだっ…！
ああああぁ…！
どうだ
気持ちいいだろ？
俺が施す産卵は
特別製だからな
分娩の痛みとは
程遠い　極上の快楽が
押し寄せているはずだ


や…やだ…
い…イク…！
ポコッ…
卵産んで
イカされるっ…！
い…今から触手の
卵を産まさせるって
いうのに…
どうしてこんなに
気持ちいいのよ…！
だ…ダメ…！
これ以上進んだら…
私…本当に
卵産んじゃうっ…！
あああああぁっ！


私…卵…
産んじゃった…
初めてだったのに…
触手の卵を……
はあ
はあ


おかしい…
こんなのおかしい…
どうして…
こんなことされたのに…
気持ちいいのよ…
To Be Continued...


e-ColorComic
【フルカラー成人版】VenusBlood
BRAVE
ヴィーナスブラッド-ブレイヴ-
第2話 生娘は触手の海にいだかれる
著者 dualtail
出版社 TMEプラス
予告編


バッ！
はあああっ！
グギャッ！


こんなところに
魔族が…
ヨーキの差し金？


それにしても
身体が軽い…
あいつの言ったことは
本当だというの…？


いや…


あんなことを
するなんて…
助けてくれた時は
いいヤツだって
思ってたのに…
結局　魔族
なんじゃない！


一瞬でも
信用した私が
バカだったわ！
グギャギャ…！







つづきは―

【フルカラー成人版】

ヴィーナスブラッド-ブレイブ-

第2話　生娘は触手の海にいだかれる

でお楽しみください

e-ColorComic



【フルカラー成人版】

ヴィーナスブラッド-ブレイヴ-
第1話
紅き月下にうごめく触手たち

出版社　TMEプラス

© dualtail/メディアバンク/メリー・ジェーン